

南山大学 図書館報

No.5 1990.4

衛星放送時代の図書館

いえもと ひろいち
家本 博一
(社会倫理研究所)

1989年後半になって、ソ連・東欧諸国では、歴史的な出来事が続発し、大きな転換期を迎えた。この模様は、衛星放送によって世界中に伝えられ、視聴者に衛星放送の威力をまざまざと見せ付ける結果となった。今、何が起き、何が注目されているかをリアル・タイムで伝える映像メディアの活用こそ、現代社会を特徴づけるものの一つであろう。日常生活のレベルで考えても、このメディアは、非常に大きな影響力を有するものであり、その意味で不可欠なものである。

ところで、現代世界の政治・経済・社会動向を把握し、理解し、分析するために必要な情報伝達手段には、映像メディアの他にも、様々なものが考えられる。なかでも、書物、雑誌、新聞などの文字メディアは、速報性という点では、衛星放送など映像メディアには劣る面もあるものの、読者が事態の推移、性格などをじっくり理解し、分析できるという点では、映像メディアよりも優れた面があるように思う。しかし、この両者は、情報メディアとして、本来的には相互に補完し得るものであり、また、そうでなければならぬものであるように思う。例えば、東独人の大量出国、ベルリンの壁の崩壊、チャウシェスク（ルーマニア）前大統領の逃亡・処刑といった事態が時々刻々変化する時期には、衛星放送の視聴率（受信契約率）が高まるだけでなく、新聞、

雑誌などの販売部数も急増するという状況が生じている。これは、多くの人々が事態の推移を見定め、それを的確に理解する必要から、両者のメディアを最も有効な形で活用しようとしていることを示す証左である。

研究者のレベルに限定しても、何が起き、それがどのように展開しているかを映像メディアで知りながら、国内外の文字メディアによってその動向を確認し、分析するという作業を日常的に続ける必要がある。そして、このような作業は、映像メディアと文字メディアの間での情報のピンポン・ゲームに依存する度合いが大きい。近時、『マヤーク通信』、『東欧ファイル』、『エコノミック・トレンド：ソ連産業基礎調査』など、日本語の専門情報誌も刊行されるようになった。また、テレビ・ニュース、新聞報道の面でも、ソ連・東欧情勢が詳しく報道されるようになり、情報のピンポン・ゲームがより一層容易になってきた。この意味では、図書館は、過去と現在に関する文字メディアの「宝庫」として、また、映像メディアと補完する形で情報のピンポン・ゲームを行い得る「場」として、重要な位置を占める「情報基地」であるように思う。このように、映像メディアが広く活用され、その意義が強調されればされるほど、文字メディアの「宝庫」としての図書館の期待される役割もますます大きくなるように思う。

図書館的達人

- 其一 速ヤカニコノ館報ヲ読ムベシ
- 其二 手帳ヲ開キテ日程ヲ調整スベシ
- 其三 仲間ヲ誘ヒテ参考窓口マデ行クベシ
- 其四 講習会申込書ニ記入スベシ
- 其五 体調ヲ整ヘテ講習会ノ日ヲ心待チニスベシ

講習会一覧

GEMMA講習会 1985年4月以降に図書館が受入れた資料に関しては、一部を除いて目録カードは作成されておらず、コンピューティング目録でしか検索できません。従ってそれらの資料を検索する唯一の手段としての“GEMMA”の使い方を理論と実習をあわせて学んでいただきます。

文献探索講習会 レポートあるいは卒業論文作成のための資料収集方法について『雑誌記事索引』を利用し、調べ方から原資料に至るまでの過程を学んでいただきます。

日経テレコン講習会 外部データベースの中でも利用頻度の高いこの二つについて、その概要を各講習会にて学び、デモンストレーションを見学していただきます。
DIALOG講習会

ライブラリーツアー 資料の種類と所在の確認及び図書館内の利用案内を致します。
1・2年生が閉架書庫(8割以上の資料を収蔵)に入ることができるのはこの機会しかありません。

★★★新入生対象ライブラリーツアー★★★

下記の時間に閲覧カウンター前に集合して下さい。

- ① 4月2日(月) 14:30と15:00の2回実施予定。
- ② 4月3日(火) 14:00と15:30の2回実施予定。
- ③ 4月4日(水) 14:00と15:30の2回実施予定。
- ④ 4月5日(木) 10:00、13:00と14:00の3回実施予定。
- ⑤ 4月6日(金) 10:30に実施予定。

《GEMMAからのお知らせ》

分類番号(主題)からのアプローチ② —GEMMAワンポイント検索—

前回では、分類番号(主題)からのアプローチについてお知らせいたしました。ただし、その際、分類番号300台の小数点を含む分類番号については同じ方法では検索できませんという注意書きがあったことを覚えていらっしゃいますでしょうか?そこで、今回はその方法についてご説明したいと思います。

GEMMAでは分類番号「335.1」の「.」を小数点として認知するように指示されていないため、「335.1」をひとつのまとまりとしてみなすことができません。そこでキーワードの項目に「335.1」と入力して検索するとエラーメッセージが表示されて検索集合を作ることができないのです。こういう場合にはどうすればよいか・・・・・・以前ご紹介した前方一致の検索(館報NO.3)を思い出してください。

(注) あなたが検索したい主題の分類番号は『日本十進分類法』でお調べください。

①「ワード」の項目に【335?】と入力、**実行**を押します。

```

GEMMA ----- < 目録検索 > ----- 90/03/02
                                           15:18:58

ワード : 335?
          *ワード関 : AND, OR, NOT, ( )

著タイトル : ----- (4,3,2,2)
          題タイトル : ----- (全角でブランクはつめて検索)
著者 : -----
出版年 : -----
分類 : -----
出版年 : -----

項目間の関係 : 1 { 1: AND 2: OR }
              2 { 1: 使う 2: 使わない }

-----
PF10= 著者ブラウズ PF12= 終了
    
```

②【335】に前方一致するすべての語が表示されます。

```

ANBAR105 - SEARCH MODE
00001 335?
335?
1493 OCCURRENCES 329 DOCUMENTS
00001 335?
7.1 123 OCCURRENCES 123 DOCUMENTS
7.12 11 OCCURRENCES 11 DOCUMENTS
7.13 95 OCCURRENCES 95 DOCUMENTS
7.14 1 OCCURRENCE 1 DOCUMENT
7.15 26 OCCURRENCES 26 DOCUMENTS
7.19 1 OCCURRENCE 1 DOCUMENT
7.2 281 OCCURRENCES 281 DOCUMENTS
7.23 8 OCCURRENCES 8 DOCUMENTS
7.24 1 OCCURRENCE 1 DOCUMENT
7.25 4 OCCURRENCES 4 DOCUMENTS
7.26 1 OCCURRENCE 1 DOCUMENT
7.27 1 OCCURRENCE 1 DOCUMENT
7.3 65 OCCURRENCES 65 DOCUMENTS
7.33 8 OCCURRENCES 8 DOCUMENTS
7.35 79 OCCURRENCES 79 DOCUMENTS
114 OCCURRENCES 114 DOCUMENTS
=>
-----
PF2= リスト PF3= 検索 PF7= P戻し PF8= P送り PF12= 終了
    
```

③ PF3 で『目録検索』画面に戻り、「分類」に【335.1】、「前回の結果」を【1】(使う)に変えて**実行**を押します。

```

GEMMA ----- < 目録検索 > ----- 90/03/02
                                           15:19:54

ワード : *335.1
          *ワード関 : AND, OR, NOT, ( )

著タイトル : ----- (4,3,2,2)
          題タイトル : ----- (全角でブランクはつめて検索)
著者 : -----
出版年 : -----
分類 : 335.1
出版年 : -----

項目間の関係 : 1 { 1: AND 2: OR }
              2 { 1: 使う 2: 使わない }

-----
PF10= 著者ブラウズ PF12= 終了
    
```

④分類番号「335.1」の検索結果集合ができました。

```

ANBAR105 - SELECT MODE
00002
1,115 ED 335.1
12516 選定されたドキュメントの数は次の如くです。 000123 (EXTENDED LIST)

-----
LIST MODE - 文庫の内容表示はカーソルを移動後PF2です DOC 1 OF 133
1098441 みくじのまじし 島田邦彦 青田電子等 日本経済新聞社 1984
1098791 アジア経営学入門 / 村山元英 慶学社 1971
1011487 A l i e m o l i e B e t - l e b e . 2 . B d . 宮原純一 千倉
1064454 アメリカ経営学概論 / 角部俊夫 文芸春秋 1987
1044795 アメリカ企業経営学概論 / 角部俊夫 文芸春秋 1987
1044797 アメリカの経営学 / 角部俊夫 文芸春秋 1987
1036390 管理心と経営 / W. B. リスト等 目下外人社 ジャヤモンド社 19
1978545 The business sentiment of John Chi 千倉
1031430 Business ethics / Norman B
1021257 実用論 / 佐藤等 千倉 1988
1018347 D o i n g e t h i c s i n b u s i n e s s e d i t e d b
1089432 経営学概論 / 角部俊夫 慶学社 1973
1021298 ドイツ経営学概論 / 角部俊夫 千倉 1988
1019988 D u d l e y D o o k e r R . F . d
1019986 E n t e r p r i s e a n d h i a t e d i t e d b
    
```

GEMMA データベース状況

1990.3.1現在

(単位: 書誌レコード数)

種別	図書		雑誌	
	洋図書	和図書	洋雑誌	和雑誌
内訳	41,758	43,879	4,412	5,970
合計	85,637		10,382	

(システム係・平松富美)

『日本件名図書目録 1977～1984』

(R/027/142/77-84/v.1～21)

ある特定の主題に興味をもっているが、具体的にどのような書物があるかを一覧するツールがあれば、どんなに便利であろうかと考えていらっしゃる利用者の方々も多いであろう。アメリカの図書館界で最も発達している検索ツールが件名目録(主題を普通名詞のキーワードで表現した目録)であり、利用者志向のもとに発達したそれを利用して、読書やレポート作成などを自由に進める手立てになっている。これまで日本で件名目録の発達を妨げてきた要因の一つは、言語の問題である。ところがここ十数年来のコンピュータの躍進で、日本語処理が欧米なみになり、このアポリアが解決され、ここに紹介する目録として結実することになった。

本書は21の主題分野が30冊で刊行されたものである。主題を順にあげてみると、

1. 地域・地名(日本)	45,000件
2. 地域・地名(外国)	22,000件
3. 歴史関係	50,000件
4. ことば関係	9,700件
5. 企業・団体名	12,000件
6. 伝記・人名	19,000件
7. 統計関係	20,000件
8. 教育関係	20,000件
9. 動・植物関係	19,000件
10. 哲学・心理学・宗教	37,000件
11. 経済・経営・財政	60,000件
12. 社会・労働	80,000件
13. 民俗・風俗	15,000件
14. 文学	33,000件
15. 芸術・芸能・スポーツ	51,000件
16. 政治・行政・軍事	66,000件
17. 法律・司法	18,000件
18. 学術・情報・文化	35,000件
19. 産業	70,000件
20. 自然科学	30,000件
21. 技術・工学・工業	60,000件

総計 約771,000件

という構成であり、収録対象は1977年から1986年6月までに国内で刊行された図書である。

件名構造一般についての説明は各巻にある凡例を読んでいただくとして、早速この目録の1.を使ってみよう。とりあえず「名古屋」に関係する事柄を検索してみる。巻頭の目次によれば本文中8頁にわたり、「名古屋」「名古屋市(遺跡・遺物)」に始まる53件の件名がある。なかでも「経済」に関係する件名に関心があるので、その項目を探すと3項目あり、関連する件名「産業」については、さらに3項目あることがわかる。そこで本文の指定頁を開くと、件名「名古屋(経済)」のもとに個々の図書の記述が列挙されている。(ここで該当頁をコピーすればよいが、本書に慣れ親しむためにも、読者諸賢が前述の検索を検証するつもりで、トレースしてみていただきたい。)

具体的な図書の記述の順序も、凡例をごらんいただければよい。しかし記述上若干の差異があるので、その個所だけ指摘しておく、一般に多い例:書名/巻次/著者/版表示
本書の場合:書名/巻次/版表示/著者
といった順序の入替があるので、多少の注意を要する。

本書の件名は当館のGEMMAや本誌の別稿で扱っているNACSIS-IRの和図書検索にも有効であるから、慣れておくとのちのち便利であろう。

文献探索のさいに、本書を使って関心事一般の書目を作っておき、さらに当館の所蔵をカード目録やGEMMAで確認すれば、学習や研究の時間効率も良いであろう。

(参考係・松林正己)

《外部データベース紹介》

NACSIS-IR

(National Center for Science Information System - Information Retrieval Service)

前回日経テレコンを紹介したが、今回は日本の研究体制を学術情報レベルで整備するために文部省が設置した学術情報センターのデータベース検索サービスをご紹介します。同センターが提供している情報検索システムはNACSIS-IRと呼ばれている。このシステムは大学図書館が参画して形成されつつあるコンピュータ・ネットワークである。昨年11月30日現在で全国の国公立大学を主とした107館がこのネットワークを構成している。NACSIS-IRには23種類のデータベース(以下DBと略)検索サービスがあるが、現在は文献情報DBが主流である。将来的には理工学分野の学術情報では重要な数値・画像DBなども提供されることになるだろう。

NACSIS-IRシステム・データベース収納状況
平成元年11月30日現在

No.	データベース名	収録件数	収録期間
1	Life Sciences Collection	758,731	1982年1月～最新版
2	Math Sci	639,148	1973年1月～最新版
3	COMPENDEX	1,523,365	1976年1月～最新版
4	EI Engineering Meeting	468,322	1984年1月～最新版
5	Harvard Business Review	2,384	1927年1月～最新版
6	I&T & B	1,288,766	1982年1月～最新版
7	EMBASE	985,166	1986年4月～最新版
8	Eri Search	1,867,621	1987年4月～最新版
9	Social Sci Search	322,313	1987年4月～最新版
10	A & H Search	297,617	1987年4月～最新版
11	科学研究費補助金 研究成果要約データベース	26,394	昭和60年度～最新版
12	学位論文索引データベース	38,619	昭和59年度～最新版
13	学会発表データベース第一系 (電気・情報・制御関連)	16,645	昭和62年度～最新版
14	学会発表データベース第二系 (化学関連)	3,179	昭和63年度～最新版
15	化学全文データベース	2,435	1983年～最新版
16	JPMARC	916,667	1989年1月～最新版
17	LCMARC (Books)	2,635,531	1968年1月～最新版
18	LCMARC (Serials)	459,385	1973年1月～最新版
19	目録所在情報データベース (和図書)	315,282 誌 1,203,198 件	1986年度～最新版
20	目録所在情報データベース (洋図書)	650,723 誌 1,107,247 件	1986年度～最新版
21	目録所在情報データベース (和雑誌)	47,654 誌 1,031,427 件	最新版
22	目録所在情報データベース (洋雑誌)	103,246 誌 854,524 件	最新版
23	データベース・ディレクトリ	905	1989年3月現在(最新版)

学術情報センターニュース No.10 (1989.12) p.16 (システム業務課)

つぎに提供されているDBの特徴を述べる。DBを大別すると、①DBディレクトリー、②総合目録DB、③全文(フル・テキスト)DB、④文献情報DB(雑誌論文の索引誌・抄録誌を含む)、⑤引用索引誌DB、の5種類に分類できよう。

①は図の[23]である。文字通り収録DBの一覧であるが、図書形態で刊行されているディレクトリーが商業ベース中心なのをたいして、これは学術研究者や機関が個別に作成したDB(公開/非公開ともに)を紹介しており、研究者には重要なものが多い。

②は[19]～[22]である。これは学術情報システムに参加している大学の和・洋の総合目録(図書・雑誌)であり、即座に全国の所蔵状況がわかる便利なもので、学部学生諸君にとっても有益な存在であろう。

③は[5]と[15]である。『Harvard Business Review』の創刊以来の全論文を本文レベルで検索できる。当館も本誌を所蔵しているが、欠号が多いので補充のつくまでは、このDBを有効に利用していただきたい。

④は他のDBの大半である。学生諸君にも有益なのは[16]～[18]の図書・雑誌の情報検索用のDB、[16]は国立国会図書館作成、[17]～[18]は米国議会図書館作成の目録である。

⑤は[8]～[10]である。世界の主要な雑誌に引用された文献の書誌情報(著者、書名、誌名)を索引化したものであり、引用頻度で雑誌の学術的評価を測定しようとする試みは、科学社会学の研究手法としてもおもしろい。

[8]は自然科学、[9]は社会科学、[10]は人文科学と芸術をカバーしている。

以上概略をまとめてみたが、利用のための詳しい説明はレファレンス・カウンターにお尋ねいただきたい。

(参考係・松林正己)

南山大学人類学研究所



文庫訪問も第3回を迎え、このあたりで学内もご紹介しようということになりました。

●人類学研究所をご存じですか？

N棟の東奥にある建物に宗教文化研究所と同居するかたちで存在する人類学研究所。

私たち編集委員はこの研究所の専任研究員である杉本先生にお話を伺った。

この研究所は、1949年9月1日、神言会員であり、20世紀人類学の巨人ともいわれるW.シュミット博士の来日を機に設立され、以来その学統を受け継ぐ研究の場として現在に至っている。1979年には、経済倫理研究所(今の社会倫理研究所)の設立、宗教文化研究所の移管と相俟って、その体制が一新された。具体的には3年1期の研究プロジェクト(註1)が生まれ、そのもとに年8回の研究例会の開催、そして研究の集大成としての『南山大学人類学研究所叢書』の刊行・発表を行っている。カトリック系大学の特色を生かして、おもにアジア地域における「伝統宗教一仏教・キリスト教・イスラーム教・ヒンドゥー教など一の存在形態」を一連のテーマとして研究が続けられ、現在はその第4期にあたる。「伝統宗教と伝統的知識体系」が今期のテーマである。

研究所の活動としては、上記の研究例会・研究所叢書をはじめ、雑誌『Asian Folklore Studies』(註2)の発行、また学外から講師を迎えて

公開講演会を企画・実施している。

(注1)・第1期(1979~1982)

テーマ: 土着宗教と伝統宗教
『伝統宗教と民間信仰』(研究所叢書I巻)

・第2期(1982~1985)

テーマ: 伝統宗教と土着化の諸相
『宗教的統合の諸相』(研究所叢書II巻)

・第3期(1985~1988)

テーマ: 伝統宗教と社会・政治的統合
『伝統宗教と社会・政治的統合』
(研究所叢書III巻)

・第4期(1988~1991)

テーマ: 伝統宗教と知識体系
研究所叢書IV巻を1991年3月に発行予定

(注2) もともとはエーダ―師が北京で出版していた個人雑誌。現在はクネヒト先生が受け継ぎ、研究所の一室を編集室に充てて、活動を続けている。この雑誌は民俗を文化と伝統の多彩性に富んだアジアに位置付けて考えたいという趣旨のもとに編集されている。民俗学の優れた研究論文を発表することはもちろん、言語の関係で使いにくい資料を英語で提供することに力を入れている。

年2回、春(4月)・秋(10月)約330P

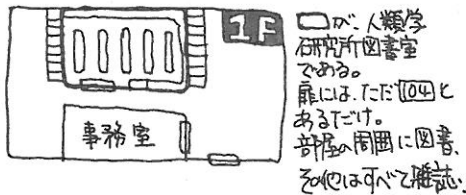
●研究所にはどんな本がある？

【人類学研究所図書室】

研究所の1階に、人類学研究所図書室がある。約7,200冊(内単行本約1,400冊)。タイトル数にして471の雑誌を所蔵している。図書はシリーズ物の収集に力を入れているという。特にご紹介すべきは『Cambridge Studies in Social Anthropology』(389B-4)、『Cambridge South Asian Studies』(389B-6)、『Handbuch der Orientalistik』(220B-2)、『Studien zur kulturkunde』(380.8B-2)などのシリーズであろうか。

雑誌はすごい!その充実した内容は、人類学のみならず考古学・民族学・更には言語学にまでも互っているという。若干、アメリカ大陸関係が手薄だが、とくにオーストリア・スイスなども含めたドイツ語圏で発行されてい

る主要な雑誌は、バックナンバーもほとんど揃って、中には“お金では買えないくらい貴重なもの”も含まれているとのこと。またアジア地域関係資料も充実をはかっており、「雑誌については内外に対して胸を張るに十分な内容です」という杉本先生のお言葉でした。人類学関係の所蔵が揃っている国立民族博物館（大阪）、東大、都立大、筑波大などを探し回って結局、研究所のこの図書室で必要な資料が見つかったという南山の研究者もいたとか、いないとか・・・。

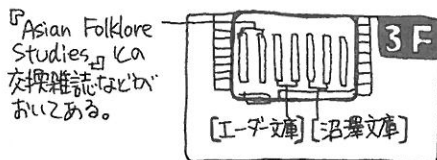


【沼澤文庫】 【エーダー文庫】

研究所3階には、本学二代目学長であり著名な民族学者であった沼澤喜市先生や前出のエーダー師の蔵書の寄贈本が、それぞれ「沼澤文庫」「エーダー文庫」として設置されている。

沼澤文庫をざっと眺めたところでは、民族学ばかりでなく哲学・宗教・文学などの資料もあり、広い範囲にわたった蔵書構成になっているようだ。

残念ながら、この文庫がある3階の部屋には学生は入ることができない。ただし、図書館のカード目録には、これら文庫の資料が別置記号「B-2」、「B-3」として含まれている。図書館のカード目録を調べていて、探した目録カードに該当する別置記号が付されていた場合には、その資料は図書館ではなく研究所にある。



●研究所の資料を読みたいけれど・・・

研究所がどこにあるかわからない、利用のしかたがわからない、という方々へのお知らせです。

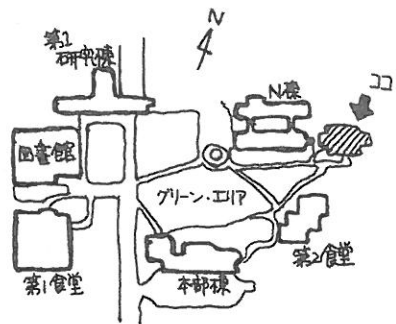
利用時間：(平日) 9:00～16:30
(土曜) 9:00～12:30

【人類学研究所図書室を利用したい場合】

- ①研究所事務室の窓口申し出ます。
その際、学生証を忘れずに・・・
- ②図書室に入室することができます。
- ③書名・著者・雑誌・地域別のカード目録で必要な資料を検索します。
(図書館では検索することができません)
- ④図書は請求番号順、雑誌はタイトルのアルファベット順に書架に並んでいます。
- ⑤資料は、閲覧のみです。ただし、コピーのための当日のみの持出しは可能です。
- ⑥研究者に対しては、貸出も行います。

【図書館の目録カードに「B-2」、「B-3」の研究所の別置記号がついていた場合】

- ①図書館の目録カードの請求番号・書名等を控えます。
- ②研究所事務室の窓口申し出ます。
その際、学生証を忘れずに・・・
- ③文庫の部屋は閉架の扱いになっていますので、入室はできません。資料は職員が出納します。
- ④資料は、閲覧のみです。ただし、コピーのための当日のみの持出しは可能です。
- ⑤研究者に対しては、入室・貸出も行います。



(編集委員・平松富美, 山本登母)

《ライブラリーカレンダー》

南山大学図書館開館予定表

□: 開館日 (開館時間は9:00、表中の数字は閉館時間)
赤: 休館日

平成2年4月～6月

4 月		5 月		6 月	
1 (火)		1 (火)	18:30 ×	1 (金)	18:30
2 (月)	16:30 ☆	2 (水)	18:30 ☆ ×	2 (土)	12:00 ★
3 (火)		3 (木)	憲法記念日	3 (日)	
4 (水)		4 (水)	国民の休日	4 (月)	18:30
5 (木)		5 (土)	こどもの日	5 (火)	
6 (金)	16:30 ☆	6 (日)		6 (水)	★ 文 G
7 (土)	12:00	7 (月)	18:30	7 (木)	
8 (日)		8 (火)		8 (金)	18:30
9 (月)	18:30	9 (水)	★ 文 G	9 (土)	15:30 ★
10 (火)		10 (木)		10 (日)	
11 (水)	★ 文 G	11 (金)	18:30	11 (月)	18:30
12 (木)		12 (土)	15:30 ★	12 (火)	
13 (金)	18:30	13 (日)		13 (水)	★ G
14 (土)	15:30 ★	14 (月)	18:30	14 (木)	
15 (日)		15 (火)		15 (金)	18:30
16 (月)	18:30	16 (水)	★ G	16 (土)	15:30 ★
17 (火)		17 (木)		17 (日)	
18 (水)	★ G	18 (金)	18:30	18 (月)	18:30
19 (木)		19 (土)	15:30 ★	19 (火)	
20 (金)	18:30	20 (日)		20 (水)	★ 文 G
21 (土)	15:30 ★	21 (月)	18:30	21 (木)	
22 (日)		22 (火)		22 (金)	18:30
23 (月)	18:30	23 (水)	★ 文 G	23 (土)	15:30 ★
24 (火)		24 (木)		24 (日)	
25 (水)	★ 文 G	25 (金)	16:00	25 (月)	18:30
26 (木)		26 (土)	創立記念日	26 (火)	
27 (金)	18:30	27 (日)		27 (水)	★ G
28 (土)	15:30 ★	28 (月)	18:30	28 (木)	
29 (日)	みどりの日	29 (火)		29 (金)	18:30
30 (月)	振替休日	30 (水)	★ G	30 (土)	15:30 ★
		31 (木)	18:30		

(注) ★印: 4年次生書庫内資料閲覧日 (水=13:00～16:30、土=9:00～11:30)

☆印: 図書館招待日、ライブラリーツアー開催 (4/2～4/6、P.2参照)

(講習会情報) 文: 文献検索、G: GEMMA(初級)

なお GEMMA(上級)、日経テレコン (経済学科生、経営学科生用) は実施日未定のため逐次掲示します。

×印: この日は GEMMA は利用できません(5/1,2)。

《編集後記》



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。私たちは“親しまれる図書館”を目指しています。この館報がその一助となればと心から願いつつ・・・

(栗山・浜口・平松・山本)

南山大学図書館報 No.5

1990.4.2発行

南山大学図書館

〒466 名古屋市昭和区山里町18

TEL.052(832)3707